

平成13年（ネ）第3260号

意見陳述書

陳述者 一審原告 文 ■ 植

大阪高等裁判所 第3民事部 御中

父の無念の死に対する真実を明らかにするために、私たち子孫は10年間戦ってきました。

このような卑劣な裁判で終わるとは思ってもいませんでした。

そこで、高等裁判所に控訴することになりました。

高等裁判所では、是非、良心的に、私たち子孫の恨みを晴らして下さるよう、真実で公正な裁判がなされることを希望します。

もし、高等裁判所でも良心的な裁判がなされない場合には、私たちは、子々孫々100年、1000年をかけても、真実を明かすときまで、戦いを続けます。

2002年2月28日

文 ■ 植

翻 訳 者 泉 稟 栄